

昭和音楽大学短期大学部ディプロマ・ポリシー

本学は「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各々の専門分野における実践的な能力を備えた教養豊かな人材を育成することを目的としています。建学の精神と教育目的を踏まえ、さらに、短期大学士として身につけるべき資質・能力である「学士力」を踏まえて、本学は、各コースの所定のカリキュラムにおいて下記の能力を学修成果(専門的能力、汎用的能力、態度・志向性)として獲得し、厳格な成績評価のもとに単位を修得した者に対し、卒業を認定し、各々の専門分野に応じて短期大学士(音楽)または短期大学士(芸術)の学位を授与します。

●ピアノ、電子オルガン、弦・管・打楽器、ウインドシンフォニー、声楽、合唱指導者、デジタルミュージック、ポップ&ロックミュージック、ジャズ、音楽教養、音楽と社会 各コース【短期大学士(音楽)】

- 専門的能力として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・**基礎力**:専攻実技、ソルフェージュ、音楽理論等の基礎力。
 - ・**技術力**:基礎力に裏打ちされた演奏技術。
 - ・**専門知識**:専門分野における理論や歴史、作曲家や作品についての理解。およびそれらの演奏表現への活用。
 - ・**アンサンブル能力**:さまざまな形態のアンサンブルによる多様な表現力。
 - ・**他のジャンルに対する理解力**:音楽をはじめとする芸術の幅広いジャンルを理解する力。

- 短期大学士として、以下を獲得したことが確認できること。
 1. 知識・理解として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・**多文化・異文化に関する知識と理解**:専門分野の知識を体系的に理解する。
 - ・**文化、社会と自然に関する知識と理解**:専門分野の知識体系を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。
 2. 汎用的能力として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・**コミュニケーション能力**:日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、話すことができる能力。
 - ・**情報活用能力**:情報を的確に収集・分析・取捨選択し、モラルに則って適切に管理・活用する能力。
 - ・**論理的思考力**:自分の考えをわかりやすく表現し、伝える能力。
 - ・**課題解決力**:多角的な考察に基づく現状分析力、課題発見能力。および目標を設定し論理的に課題を解決することができる能力。

3. 態度・志向性として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・自己管理能力:自らを律して行動できる。
 - ・チームワーク、リーダーシップ:他者と協調・協働して行動できる。また他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
 - ・倫理観:自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
 - ・社会的責任:社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。
 - ・生涯学習力:卒業後も自律・自立して学習できる。
4. 創造的思考力として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・創造的思考力:これまでに獲得した専門的能力と汎用的能力、態度・志向性とを結び付け、知識・技能等を総合的に活用して創造的な思考力を発揮する力。

●バレエコース【短期大学士(芸術)】

- 専門的能力として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・基礎力:バレエにおける基礎力。
 - ・技術力:ダンサーとして活躍できる身体能力や感性豊かな表現力、創造力等。
 - ・専門知識:バレエにおける理論や歴史、作品についての理解。およびそれらの表現への活用能力。
 - ・アンサンブル能力:バレエにおけるアンサンブルによる多様な表現力。
 - ・他のジャンルに対する理解力:音楽をはじめとする芸術の幅広いジャンルを理解する力。
- 短期大学士として、以下を獲得したことが確認できること。
 1. 知識・理解として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・多文化・異文化に関する知識と理解:専門分野の知識を体系的に理解する。
 - ・文化、社会と自然に関する知識と理解:専門分野の知識体系を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。
 2. 汎用的能力として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・コミュニケーション能力:日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、話すことができる能力。
 - ・情報活用能力:情報を的確に収集・分析・取捨選択し、モラルに則って適切に管理・活用する能力。
 - ・論理的思考力:自分の考えをわかりやすく表現し、伝える能力。
 - ・課題解決力:多角的な考察に基づく現状分析力、課題発見能力。および目標を設定し論理的に課題を解決することができる能力。
 3. 態度・志向性として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・自己管理能力:自らを律して行動できる。
 - ・チームワーク、リーダーシップ:他者と協調・協働して行動できる。また他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
 - ・倫理観:自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
 - ・社会的責任:社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。
 - ・生涯学習力:卒業後も自律・自立して学習できる。
 4. 創造的思考力として、以下を獲得したことが確認できること。
 - ・創造的思考力:これまでに獲得した専門的能力と汎用的能力、態度・志向性とを結び付け、知識・技能等を総合的に活用して創造的な思考力を発揮する力。